

**第16期**

# 株主通信

平成30年4月1日 ▶ 平成31年3月31日

はしも、  
まちも、  
ひとも。



## トップメッセージ



### 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

第16期(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)の当社の事業概況等について、ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長

## 新井 英雄

### ■ 第16期の業績について

当期におけるわが国経済は、米中通商問題や英国のEU離脱問題等による世界経済の先行きに対する懸念があるなか、雇用・所得環境の改善や民間設備投資の増加等により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

国内建設市場におきましては、公共投資の下支えに加え、堅調な企業収益を背景とした維持・更新、省力化への投資や、首都圏を中心とした再開発事業などの民間投資が底堅く推移し、安定した受注環境が継続しました。

このような状況下、「中期経営計画2016-2018」の最終年度となる当期の業績は以下のとおりとなりました。

まず、連結ベースでは、高水準の手持ち工事が順調に進捗したことから、売上高が4,488億円(前年度比314億円増加)となりましたが、資材コストの上昇などにより、売上総利益は前年度比微減(0.1億円減少)の510億円となりました。

営業利益につきましては、人件費や研究開発費用の増加などの影響により、292億円(前年度比14億円減少)となりました。一方で、営業外費用の減少により、経常利益は289億円(前年度比4億円増加)となり、5期連続で合併後の最高益を更新することとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等の負担の増加により、188億円(前年度比19億円減少)となりました。

### ■ 中期経営計画2016-2018の総括

当社グループでは、平成31年3月期を最終年度とする「中期経営計画2016-2018」において、過去に施工した杭工事の不具合事象により毀損した信用や企業価値の回復を経営上の最優先課題と位置づけ、「信頼の回復と企業価値の向上」をテーマに、その実現に向けて全社を挙げて取り組んでまいりました。業績面では、活況な国内建設市場を背景に、計画期間を通じて業績計画値を上回る利益を確保し、自己資本比率や株主還元についても目標を達成しました。

**配当のご案内** ▶▶▶ 第16期 期末配当 1株当たり **24**円(前期 18円)

### 自己株式取得のお知らせ

令和元年5月10日開催の取締役会において、資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、以下のとおり自己株式の取得を決議いたしました。

- ①取得対象株式の種類.....普通株式
- ②取得し得る株式の総数.....800,000株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 0.50%)
- ③株式の取得価額の総額.....500,000,000円(上限)
- ④取得期間.....令和元年5月13日～令和元年9月30日

## 中長期的な会社の経営戦略

今後、当社グループを取り巻く中長期的な事業環境は、国内建設需要の縮小が懸念されるものの、海外では特に新興国(東南アジア、南アジア、アフリカ等)において、急速な経済成長によるインフラ需要が見込まれています。また、建設産業全体の課題である担い手不足問題の深刻化が見込まれる一方、IoT、AIなど先進的なICTをはじめとした技術革新が急速に進み、建設生産プロセスにおけるデジタル化の進展が予想されています。

こうした事業環境の変化に対し、当社グループの強みを活かして、社員一人ひとりが未来志向を持って行動し、持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な成長を遂げるため、目指すべき「2030年の将来像」を設定しました。

### ■ 2030年の将来像



今般策定した「中期経営計画2019-2021」におきましては、この将来像の実現に向けて、企業競争力の強化と企業価値の創造に取り組んでまいります。

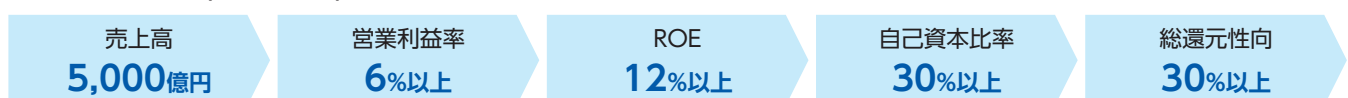
### ■ 中期経営計画2019-2021の基本方針

#### 「変革の加速」

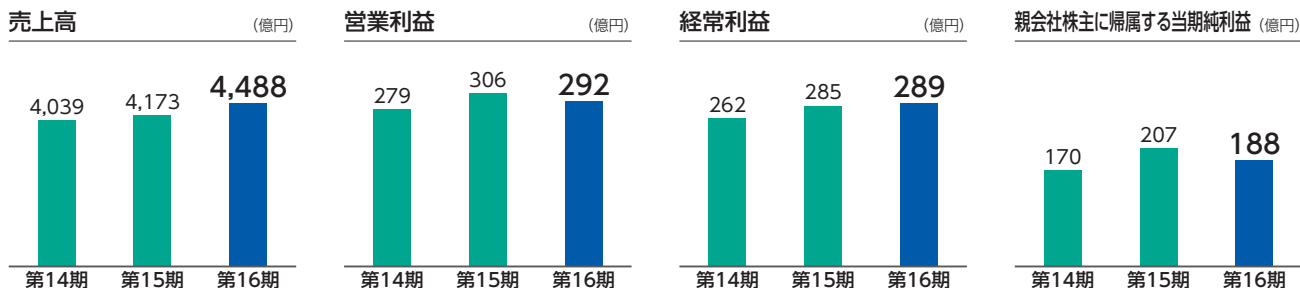
変化する環境に柔軟に適応し、SDGs達成への貢献とともに、企業競争力の強化と企業価値の創造に向けた変革を加速させる。



### ■ 計画最終年度(2021年度)の主な経営数値目標(連結)



## 連結決算ハイライト



## 主な完成工事



### 発注者名

ジャカルタ高速鉄道株式会社

### 工事名称

ジャカルタ高速鉄道建設工事 CP106工区



### 発注者名

住友不動産株式会社

### 工事名称

(仮称)八王子計画新築工事



### 発注者名

中日本高速道路株式会社

### 工事名称

新東名高速道路厚木第二高架橋他8橋(PC上部工)工事



### 発注者名

三菱地所レジデンス株式会社  
西日本鉄道株式会社

### 工事名称

福岡市中央区桜坂3丁目計画新築工事



### 発注者名

国土交通省

### 工事名称

宮古盛岡横断道路築川トンネル工事



### 発注者名

福島県 須賀川市

### 工事名称

(仮称)須賀川市市民交流センター建設工事

## 第16期定時株主総会決議ご通知

令和元年6月27日開催の当社第16期定時株主総会において下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

### 報告事項

- 第16期(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)事業報告及び連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  - 第16期計算書類報告の件
- 本件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、第16期の期末配当金は、当社普通株式1株につき24円と決定いたしました。

#### 第2号議案 取締役9名選任の件

本件は、新井英雄、三森義隆、端戸久仁夫、君島章兒、益子博志、笹本前雄(以上重任)、近藤重敏、杉江潤、細川珠生(以上新任)の9氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、笹本前雄氏、杉江潤氏及び細川珠生氏は、社外取締役であります。

#### 第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、徳永尚登氏(新任)が選任され、就任いたしました。

#### 第4号議案 取締役の報酬額改定の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役の金銭による報酬等の額を「年額450百万円以内(うち社外取締役80百万円以内)」とし、その報酬額には使用人兼務取締役の使用人分給与を含むものと決定いたしました。

#### 第5号議案 監査役の報酬額改定の件

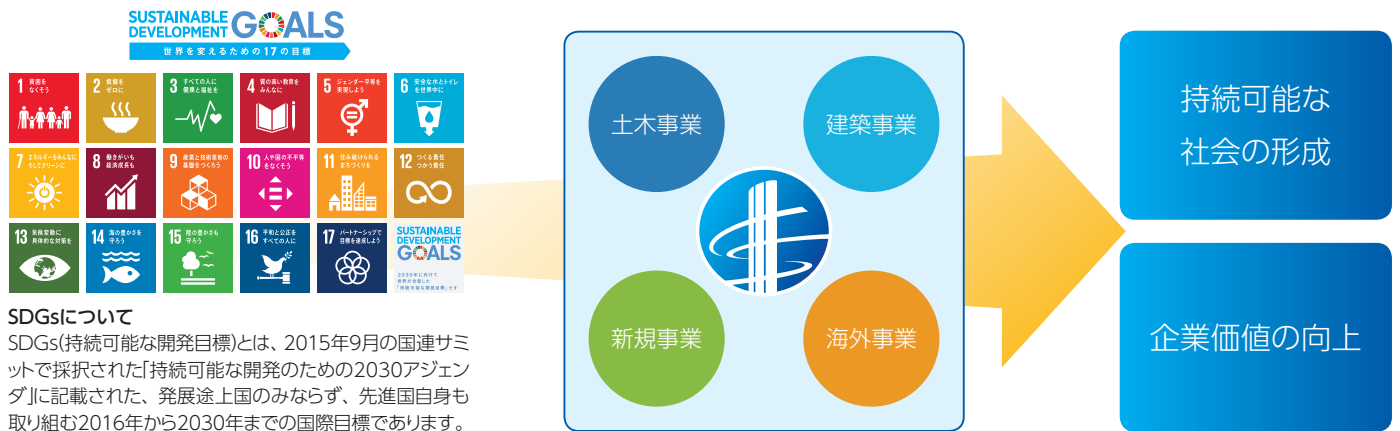
本件は、原案どおり承認可決され、監査役の報酬額を「年額108百万円以内」と決定いたしました。

以上

# 事業活動を通じたSDGsへの貢献

## SDGs達成に向けた取り組み

当社は、SDGsに積極的に向き合い、事業活動に取り入れることで、持続可能な社会の形成と、企業価値の向上に繋がってまいります。



### 土木

#### 生産性向上への取り組み

#### 高速道路大規模更新事業へのプレキャスト部材の活用

老朽化したインフラの更新は、社会的な課題であり、近年、高速道路の大規模更新市場は急速に拡大しています。当社は、早くから更新事業に取り組み、インフラの長寿命化に貢献しています。高速道路の大規模更新事業では、路面の下で通行車両の荷重を受ける「床版」のほか、道路脇に設けられている「壁高欄」についても、あらかじめ工場でコンクリート製の部材（プレキャスト部材）を製作し、現地で組み立てることで、生産性の向上を図っています。



中国自動車道(特定更新事業)西川橋床版取替工事



### 建築

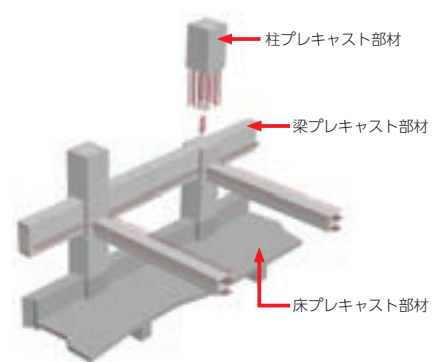
#### 生産性向上への取り組み

#### 独自技術による超高層住宅の建設

東京の虎ノ門・麻布台地区において、地上64階、高さ約263mの超高層住宅工事を受注しました。安全・高品質・短工期で工事を施工するために、当社独自技術の「スクライム工法」を活用し、梁や柱の主要構造部を全てプレキャスト化した部材を用いて、躯体工事をローテーション化することで、1フロアを3日サイクルで施工します。密集した木造建物の解消、レジリエントな構造物の提供を通じて、住み続けられるまちづくりに貢献してまいります。



イメージパース  
虎ノ門・麻布台地区  
第一種市街地再開発事業施設建築物等新築工事 B-1街区



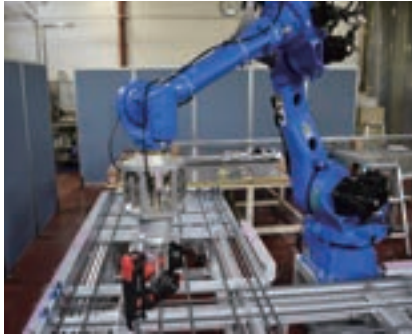
スクライム工法概念図

土木 建築

## 生産性向上への取り組み

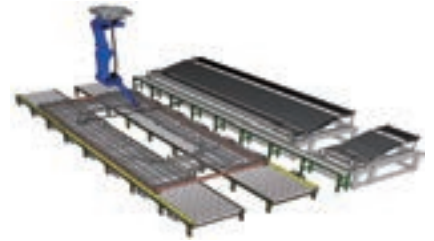
### 建設生産プロセスの変革(自動化技術の開発)

当社は、ロボットの活用による省人化・省力化で生産性の向上を実現する、鉄筋組立自動化システム「Robotaras™(ロボタラス/ROBOT Arm Rebar Assembly System)」の開発を進めており、このたび、鉄道構造物の軌道スラブ製造時における動作試験が完了し、本システム導入に目途をつけました。今後は当社プレキャスト工場の製造ラインへの導入を目指して、更なる開発を進め、スクライム工法や大規模更新事業のプレキャスト部材などに活用し、生産性の向上に向けて幅広く展開してまいります。



システム動作実験の様子

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを
--------------	-------------------	------------------



「Robotaras™」のイメージ

海外

## 海外事業の拡大

### 大規模プロジェクトへの参画による経済発展への貢献

当社は、急速な経済発展が見込まれる東南アジア地域において、各国のインフラ整備事業に積極的に参画しています。フィリピンでは、14 kmの高架橋と3か所の駅舎を建設する工事を受注しました。また、ミャンマーでは、ヤンゴン中心部とティラワ経済特別区を隔てるバゴー川に橋梁を整備する工事を受注しました。これらの工事の完成により、交通や物流ネットワークが改善され、各国の経済発展・成長に寄与することが期待されています。



イメージパース  
南北通勤鉄道事業(マロロス・ツツパン)CP2工区  
発注者: フィリピン共和国運輸省  
工期: 42か月  
請負金額: 約539億円



完成予想図(提供: 独立行政法人国際協力機構)  
バゴー橋建設事業(CP1-CP2)  
発注者: ミャンマー連邦共和国建設省橋梁局  
工期: 32か月  
請負金額: 約280億円(JV全体)

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを
--------------	-------------------	------------------

新規

## 新たな価値創造への取り組み

### サステナブルな技術・サービスの展開

当社は、4,500橋を超えるプレストレストコンクリート橋梁を建設し、点検・診断や対策工事の提案を行ってきました。この橋梁マネジメント技術が認められ、平成31年1月21日にゼネコン(総合建設業)として初めてアセットマネジメントシステムの国際規格「ISO55001」\*の認証を取得しました。今後は、橋梁分野におけるマネジメント技術の蓄積・活用とICTの活用による建設生産プロセスのデジタル化を進め、さらに他の分野に関する認証の拡大も図り、持続可能で強靱な国土と質の高い社会インフラづくりに貢献してまいります。



管理するアセット及び活動  
橋梁における点検、診断、処置提案、長期メンテナンス計画及びそれらに関する技術開発



タブレットアプリを用いた橋梁点検の様子

11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
------------------	----------------

\*「ISO55001」は、組織がもつアセットを、コストとリスクとパフォーマンスの3つのバランスを考慮し、そのライフサイクル期間で最大の資産価値を生み出すことを目的として制定されたアセットマネジメントの国際規格です。

会社概要 (平成31年3月31日現在)

商号 三井住友建設株式会社  
(Sumitomo Mitsui Construction Co., Ltd.)  
本店所在地 〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号  
設立 1941年(昭和16年)10月14日  
資本金 12,003,797,895円  
従業員数 4,560名(連結) 2,733名(単体)  
事業内容 建設事業:土木・建築・プレストレストコンクリート工事の  
設計・施工及びこれらに関する事業  
開発事業:不動産の売買、賃貸及び管理に関する事業

株式情報 (平成31年3月31日現在)

発行可能株式総数 533,892,994株  
発行済株式総数 162,673,321株  
(自己株式 2,094,304株を含む)  
株主数 71,688名  
所有者別株式分布状況



主要な営業所等 (令和元年6月27日現在)

当社  
本店 東京都中央区佃二丁目1番6号  
技術研究所 千葉県流山市駒木518番地の1  
支店  
北海道支店(札幌市中央区) 静岡支店(静岡市葵区)  
東北支店(仙台市青葉区) 中部支店(名古屋市中区)  
東関東支店(千葉市美浜区) 大阪支店(大阪市中央区)  
東京土木支店(東京都中央区) 広島支店(広島市中区)  
東京建築支店(東京都中央区) 四国支店(愛媛県新居浜市)  
国際支店(東京都中央区) 九州支店(福岡市博多区)  
横浜支店(横浜市神奈川区)  
海外事務所  
マニラ(フィリピン) ジャカルタ(インドネシア)  
アムステルダム(アメリカ) バンコク(タイ)  
ハノイ(ベトナム) ヤンゴン(ミャンマー)  
シンガポール(シンガポール) プノンペン(カンボジア)

子会社

国内 三井住建道路株式会社(東京都新宿区)  
SMCリフォーム株式会社(東京都台東区)  
SMCプレコンクリート株式会社(東京都台東区)  
SMC商事株式会社(東京都中央区)  
SMCテック株式会社(千葉県流山市)  
SMCシビルテクノス株式会社(東京都中央区)  
海外 SMCCフィリピンズ(フィリピン)  
SMCCウタマインドネシア(インドネシア)  
SMCCタイランド(タイ)  
SMCCコンストラクションインド(インド)  
SMCCオーバーシーズシンガポール(シンガポール)  
SMCCマレーシア(マレーシア)  
台湾三住建股份有限公司(台湾)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
(中間配当を実施する場合は毎年9月30日)  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株式に関する住所変更のお届出先及び照会先について

住所変更等のお届出及びご照会は、証券会社に口座を開設されている株主様につきましては取引の証券会社に、特別口座を開設の株主様につきましては下記の電話照会先までご連絡ください。

株式に関するマイナンバーの取扱いについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がある場合がございます。詳細につきましては、証券会社にて口座を開設されている株主様につきましては取引の証券会社に、特別口座を開設の株主様につきましては下記の電話照会先までお問い合わせください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 ☎0120(782)031  
インターネットホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
公告方法 電子公告により行います。  
(下記の当社ホームページに掲載いたします。)  
<https://www.smcon.co.jp/ir/koukoku/>  
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
上場金融商品取引所 東京証券取引所 市場第一部

期末配当のお支払いについて

第16期期末配当金のお支払いについて

第16期期末配当金は、同封の「第16期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店ならびに郵便局で払渡期間内(令和元年6月28日から令和元年7月31日まで)にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には、「配当金計算書」及び「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社)等へお問い合わせください)。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りすることとなっています(同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)。

なお、「支払通知書」は、株主様が確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます(株式数比例配分方式を選択されている場合は、お取引の口座管理機関(証券会社)等へお問い合わせください)。



Sumitomo Mitsui Construction Co., Ltd.  
〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号  
<https://www.smcon.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

